

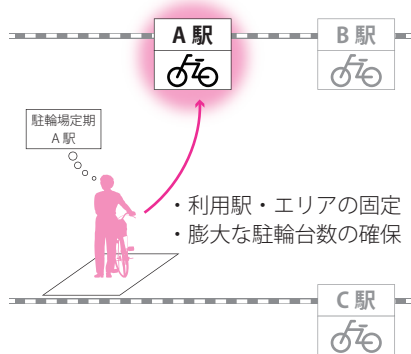
都心にほど近い、
便利な暮らし

パーソナルモビリティ利用の増進・利便化

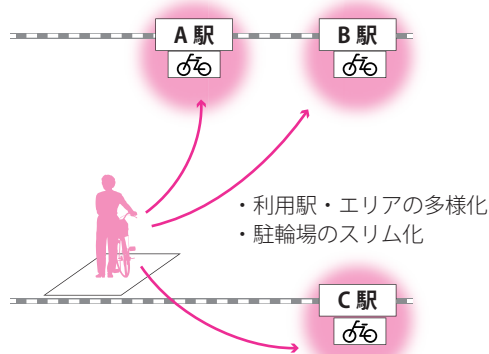
- ・自転車は現状の区民の主要な交通手段の一つであり、手軽で自由度の高い交通手段として、今後より利用の増進・利便化を図っていくことが望まれます。
- ・自転車に加え、電動キックボード等も包括した**パーソナルモビリティの利用増進**を行うことで、更なる利便性の向上を図ります。
- ・充電や乗り捨てが可能な**モビリティスポットの配置**や安全・円滑に走行できる**自転車・パーソナルモビリティ走行空間の整備**を行います。
- ・**シェアサイクルの普及**や**駐輪場利用体系の一元化**により駐輪台数の絶対数の減少や、多様な移動・活動を誘発します。

ケース１：自宅⇄駅間の交通

現状

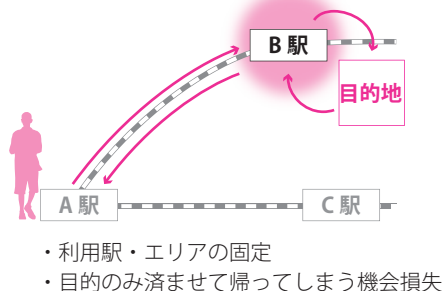


シェアサイクルの普及

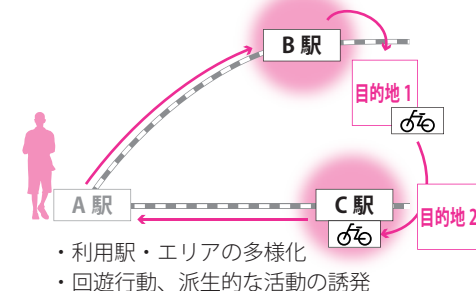


ケース２：駅⇄目的地間の交通

現状



シェアサイクルの普及



シェアサイクル普及等による移動・活動の変化のイメージ

都心にほど近い、
便利な暮らし

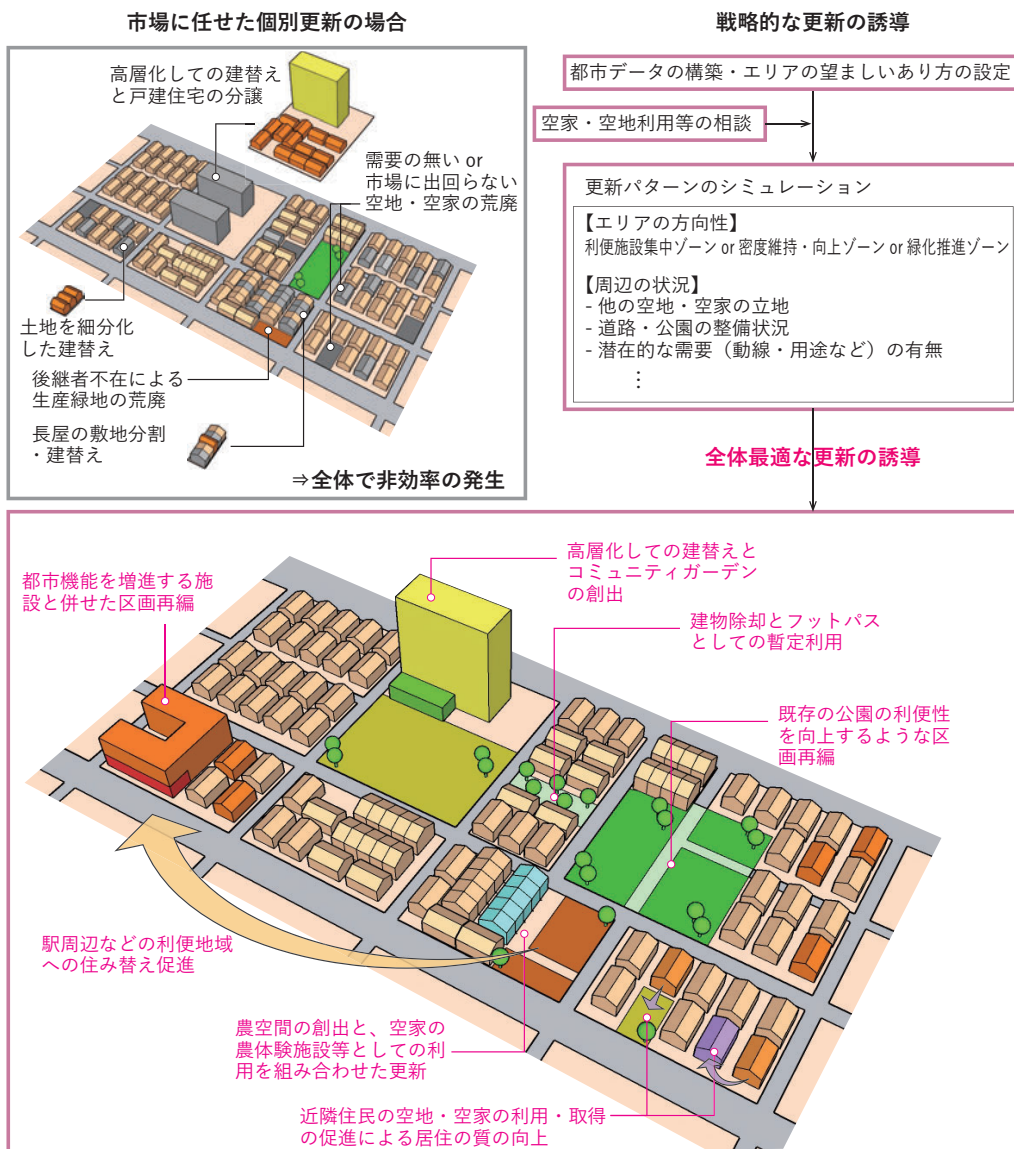
歩行者ネットワークの形成

- ・当区では耕地整理・区画整理により広幅員・高規格の道路ネットワークを形成していますが、街路樹が少なく路面のデザインが一定であるなど、歩いていて単調な印象を受けるまちなみが広がっています。
- ・駅周辺や長居公園周辺、商店街、河川沿い、旧村を中心に、**歩いて楽しい、ウォーカブルな歩行者ネットワークの形成**を進めます。
- ・歩行者・自転車交通等への利用が見込まれる**空地をフットパスとして設える**ことで、回遊性の向上を図ります。

根やかで地に足ついた、
ゆとりある暮らし

ランドバンク等による戦略的な更新の誘導

- ・空家・空地の時間・空間的ランダムな発生と都市の低密化に対しては、市場に任せた個別の更新や、再開発等の高密度化を前提とした更新ではない、**まち全体として住環境・魅力の向上につながる最適な更新**の在り方を検討し、区画再編や用途の誘導を行っていく必要があります。
- ・**最適な更新方法の検討・判別を行うプログラムを構築**し、空家・空地が発生した際や大規模建築の建替えが起こる際に活用し、その結果に沿った更新を誘導・実施します。このプログラムは、現況の土地利用や土地家屋状態をデータベース化した都市モデルと、エリアごとの目標像から構成され、各種更新が町全体に与える影響を評価し、望ましい更新のあり方を定めます。このプログラムを利用して漸進的にまちの魅力向上を図ります。
- ・狭隘道路の拡幅やまとまったオープンスペースの創出、都市機能を増進する建築物の開発は、**小規模連鎖型区画再編事業（ランドバンク事業）**のように街区単位で戦略的に更新を行う手法により実現を図ります。

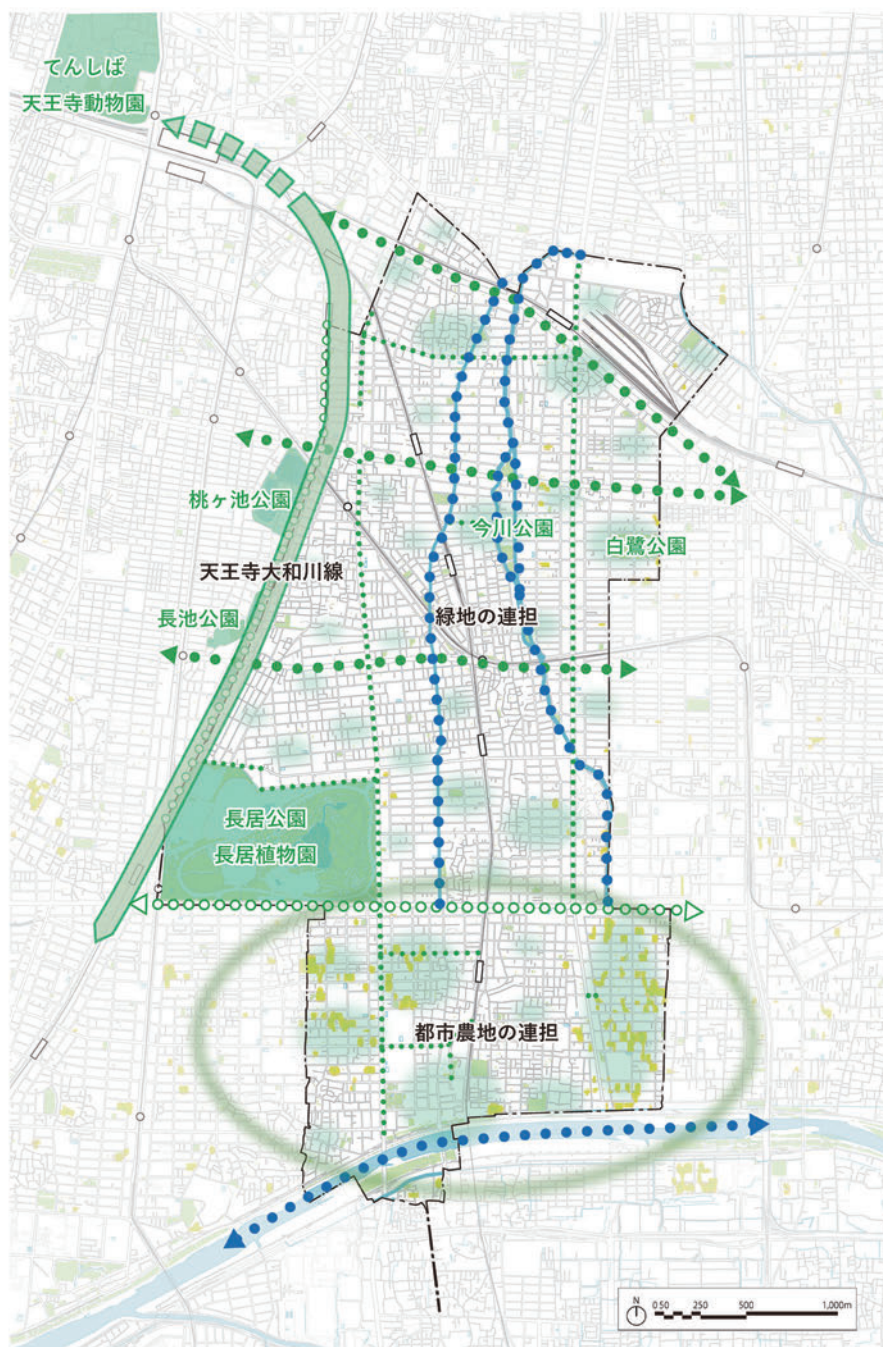


戦略的な更新の誘導のイメージ

穏やかで地に足ついた、
ゆとりある暮らし

公園をはじめとした緑地化の推進

- ・当区での穏やかな暮らしの実現のために、公園や河川を中心に緑地のネットワーク化を図り、緑豊かな住環境の形成を促進します。
- ・緑地化の推進は住環境の向上・地域の魅力向上だけでなく、地域の雨水浸透力の強化によるゲリラ豪雨等での浸水リスクの緩和・下水管等のインフラへの負荷軽減、緑陰・風道の創出による異常高温の緩和等の近年の都市環境変化への対応等にも貢献します。



- 街路樹のある通り
- みちみどりのネットワーク対象路線(街路樹有)
- みちみどりのネットワーク対象路線(未整備)
- みずみどりのネットワーク対象路線
- 緑地の連担(イメージ)

緑地のネットワークイメージ

- ・緑地の種類ごとに創出・管理運営の方針を立て、まち全体の緑地面積の増大を図ります。
- ・行政が緑地を整備し民間事業者が維持管理・利用するなど、持続可能な緑地の創出・拡大・活用を行います。
- ・緑地の連続性や面積の確保のために、望ましい位置に望ましい種類・形態での緑地をランドバンク事業による区画再編等で誘導します。



緑地の種類と創出方針の整理